

かほだより

元-9号
R1(2019).11.29

長野県伊那家畜保健衛生所

〒396-0026 伊那市西町 5764

TEL : 0265-72-2782, FAX : 0265-72-2765

E-mail : inakachiku@pref.nagano.lg.jp

URL : <http://www.pref.nagano.lg.jp/inakachiku/>

伊那諏訪家畜畜産物衛生指導協会

Tel&Fax : 0265-76-8086

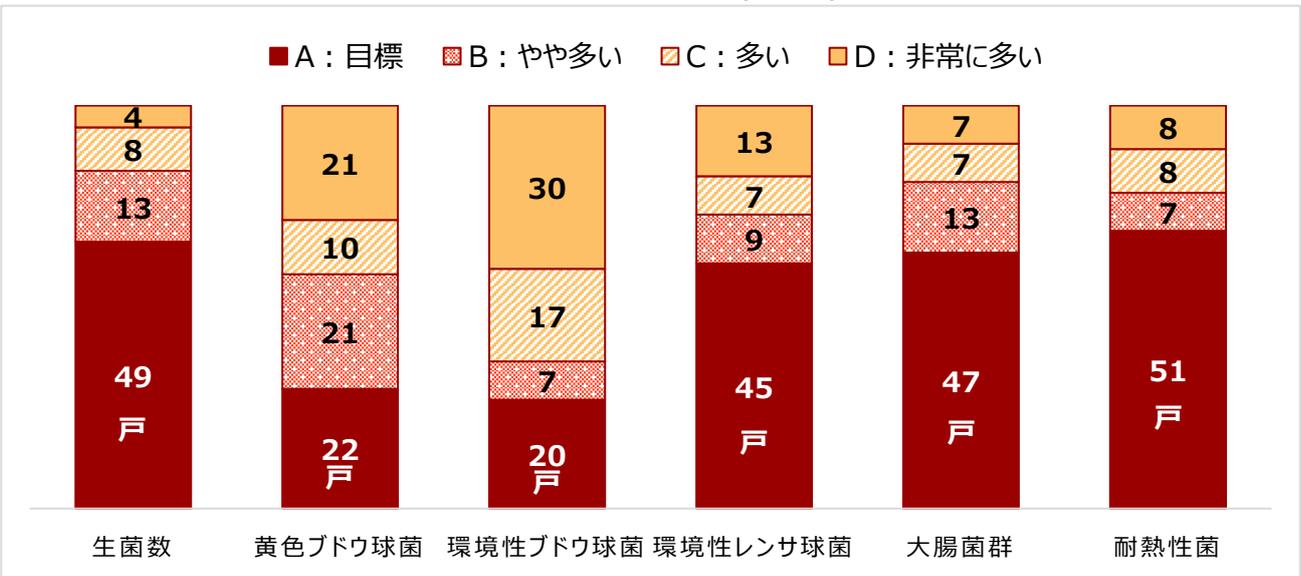
酪農生産性向上対策事業

令和元年度第2回バルク乳スクリーニング検査の集計結果をお知らせします

検査時期：令和元年10月1日～11月5日

検査対象戸数：74戸(上伊那地域56戸、諏訪地域18戸)

検査項目：生菌数、黄色ブドウ球菌、無乳性レンサ球菌、環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌、大腸菌群、耐熱性菌、マイコプラズマ、牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)遺伝子検査



無乳性レンサ球菌、マイコプラズマ、牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)遺伝子は全ての農場で陰性でした。

— SA 対策に乳房炎ワクチンは効く？効かない？ —

ご存知のとおり、黄色ブドウ球菌(SA)は伝染力が強く、治癒が困難です。また、潜在性乳房炎を起こすため、気がつかないうちに牛群にまん延し、バルク乳の体細胞数がじわじわ増加したまま下がらなくなることがあります。

最近では**乳房炎ワクチン**を接種している農場も多く、効果があると言われる一方で、「接種しているのにSAが出てしまった」と、がっかりする声が聞かれることもあります。

ワクチンは乳房炎にかからなくするものというより、かかってしまった場合に「**症状を軽減する**」ためのものです。特にSAについては、**感染牛の対処**と**新たな感染牛をつくらぬ搾乳**が大切で、ワクチンを併用することにより、牛群でのまん延を防ぐ効果が期待されます。

— と畜場から後継牛!?(優良後継牛確保促進事業) —

県は昨年度から、と畜場(松本市)へ出荷された牛から卵子を採取し、**登記可能な体外受精卵**を生産する事業を実施しています。体外受精卵の生産にかかる**費用は県が負担**し、生産された受精卵は農家の希望により**有償配布**します(県規定により、2万円程度/個)。

繁殖に供せなくなった牛の後継牛を残せるかもしれません。

※事前に供卵牛の血統登録、体外受精卵生産許可申請(日本ホルスタイン登録協会/全国和牛登録協会)が必要です。協会への申請は県が行いますが、全国和牛登録協会の許可が出るまで2ヶ月程度かかることがあります。

※使用する精液を指定したい場合、精液を持ち込むことができます。

※性別別精液は使用できません。

問い合わせ先：伊那家畜保健衛生所 保健衛生課 [Tel:0265-72-2782](tel:0265-72-2782)

